

① 町の将来を見据えたまちづくりについて

本町は、豊かな自然に恵まれているとともに、長崎市・時津町に隣接し生活の利便性が高く、また子育てや教育環境が充実していることから「暮らしやすい街」として県内トップクラスの評価を得ています。

一方で、本町は近年人口が微減の傾向にあります。今後も少子高齢化が進展するものと見込まれており、人口減少が更に加速することが推計されます。

近い将来の人口減少は、地域経済や町の財政にも大きく影響を及ぼし、地域の存立基盤に関わる深刻な問題となることが危惧されます。本町では今のところ逼迫する状況ではありませんが、豊かで持続可能な地域社会をつくり上げ、次世代に引き継いでいくために将来を見据え、しっかりとした戦略を持って取り組む必要があります。現在、本町では将来を見据えたまちづくりのため、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を包含した「第10次総合計画」を策定し、各取組みを実施しているところですが、今回以下の取組み項目について町の考えを伺います。

(1) <基本目標1：経営感覚のある行政運営>

本町における人口1万人あたりの職員数は県内で最も少ない状況にあり、評価するとともに、今後も効率的・効果的な行政運営に努めていただきたいと思います。本町の計画目標のなかで多様な官民連携手法の導入を検討すると記載ありますが、アウトソーシングなど多様な民間活力の導入促進を検討するうえで将来を見据えた町の考えを伺います。

(2) <基本目標3：商業の振興>

本町は、隣接する長崎市・時津町と一体となった生活圏を形成している中で、飲食や買い物の多くは長崎市・時津町へ依存している状況にあります。ただ町民からは、ファミリー層が利用できる飲食店や衣類・電化製品の店舗が町内に少ないとの声を多く聞きます。町としても課題として認識していると承知しています。そこで将来を見据え、町の考えを伺います。

(3) <基本目標6：ごみ・し尿の適正な処理>

ごみ収集量が増加傾向にあり、ごみの減量化対策が求められています。計画では、ごみ収集・処理体制の構築を図るとありますが、過去にごみ処理能力を超えたため長崎市へ処理を委託したこともあります。さらに焼却炉の過剰な使用による故障が発生しないか懸念します。そこで、質問します。

(イ) ごみ排出抑制(3R)の具体的な取り組みを伺います。

(ロ) ごみの収集量と処理量の現状どうなっているか伺います。

(ハ) 焼却炉のメンテナンス状況はどうなっているか伺います。

(4) <基本目標6：地域福祉の充実>

計画目標のなかで、人口減少と少子高齢化に適切に対応し、将来にわたって活力ある地域社会を維持していくために、地域で支え合う体制づくりの構築を支援する。旨の記載があります。そこで質問します。

(イ) 具体的な取組みである「地域で支え合う体制づくり」「地域福祉の担い手づくり」について町の目標達成のための具体的施策を伺います。

(ロ) 避難行動要支援個別支援計画の作成状況が進展していないと思料しています。作成についての現状の問題点と今後の推進計画について伺います。